

ホタテガイ採苗速報

5月25日に第1回全湾付着稚貝調査を行います

令和8年5月18日に湾内9定点でラーバ予備調査を、5月11～18日に実験漁場で試験採苗器による付着稚貝調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイラーバの出現数と大きさ

ラーバの出現数は西湾平均で51個/m³、東湾平均で48個/m³で、前回の調査時より減少していました(図1)。200ミクロン以上のラーバの割合は、西湾平均で43.4%、東湾平均で73.9%、260ミクロン以上の割合は西湾平均で0.0%、東湾平均で52.7%でした(図2、3)。

2 海況

水深15m層の5月第4半旬平均水温は、平舘ブイと東湾ブイでかなり高め、青森ブイでやや高めでした。

3 試験採苗器への付着状況

5月11～18日まで(7日間)における試験採苗器へのホタテガイの付着状況は、久栗坂実験漁場で32～68個/袋、川内実験漁場で224～304個/袋の付着が確認されました(表1)。

4 ムラサキイガイ等ラーバの出現状況

各海域のムラサキイガイとキヌマトイガイのラーバの出現数は図4、5、各湾の出現数の推移は図6～9のとおりです。ムラサキイガイラーバの出現数は、全湾平均で886個/m³と平年値258個/m³よりかなり多い状況です。キヌマトイガイラーバの出現数は、全湾平均で204個/m³と平年値307個/m³よりかなり少ない状況です。

5 今後の見込み

前週の調査時と比べ、試験採苗器へのホタテガイの付着数は減少したものの、付着が確認されました。ラーバも少ないながらも確認されていることから、引き続き施設を安定させて付着を促してください。

5月25日基準日に第1回全湾付着稚貝調査を行います。調査地点ごとに中層1袋の提供をお願いいたします。ホタテガイの付着状況については、来週の情報を参考にしてください。

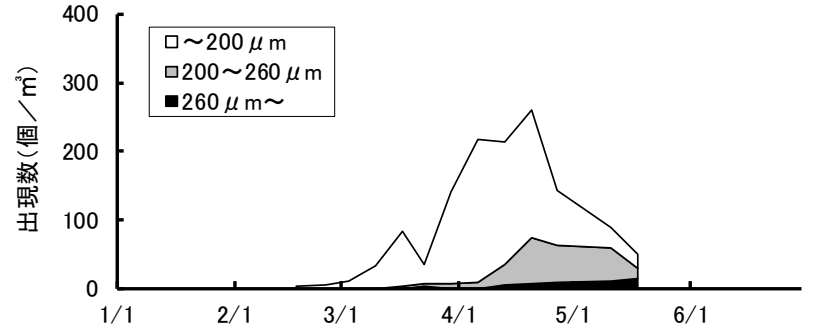


図1 全湾におけるホタテガイラーバ出現数の推移

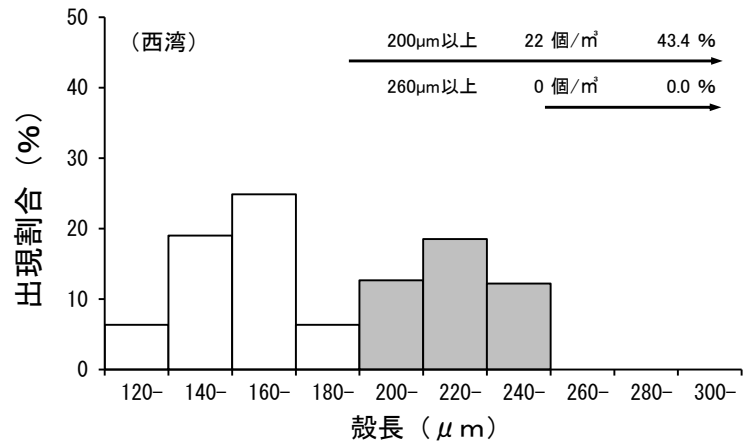


図2 西湾におけるホタテガイラーバの殻長組成

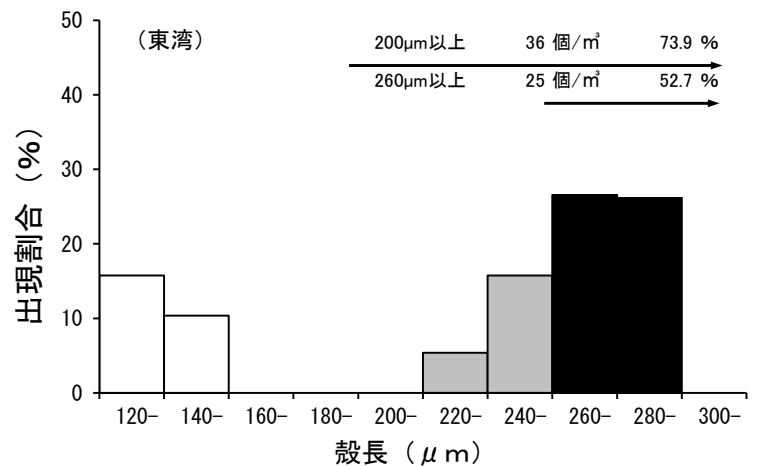


図3 東湾におけるホタテガイラーバの殻長組成

表1 実験漁場における試験採苗器への付着状況

(単位: 個/袋)

調査場所	水深 (m)	投入	引揚	日数 (日)	ホタテガイ		ムラサキイガイ	キヌマトイガイ	ヒトデ	ウミセミ*
					今回	累積値				
久栗坂 実験漁場	15	5/11	5/18	7	68	668	884	36	0	0
	25	5/11	5/18	7	32	252	1,312	4	0	0
	平均				50	460	1,098	20	0	0
川内実験漁場	15	5/11	5/18	7	304	1,504	2,052	116	0	0
	25	5/11	5/18	7	224	976	1,552	152	0	0
	平均				264	1,240	1,802	134	0	0
全湾平均					157		1,450	77	0	0

*: ウミセミは袋の中の値



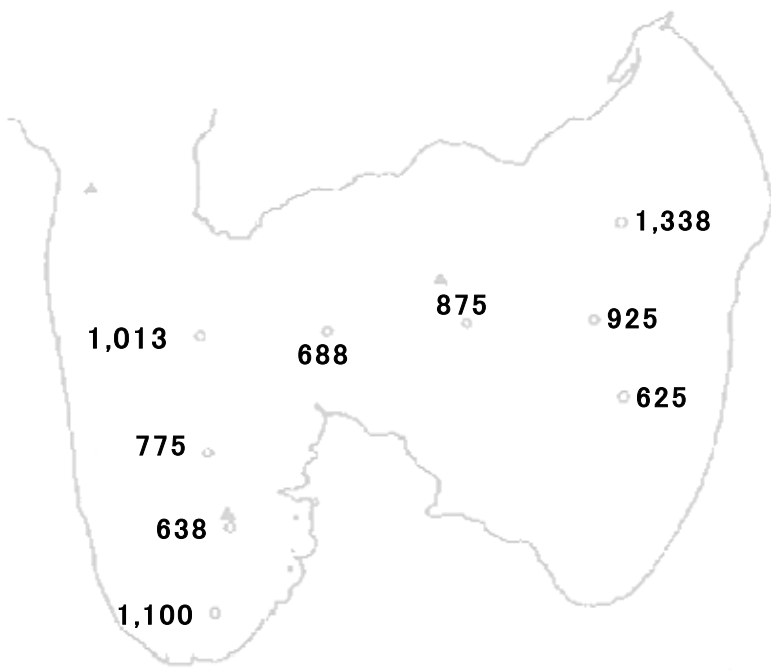


図4 調査地点別におけるムラサキガイラーバの平均出現数（個/m³）

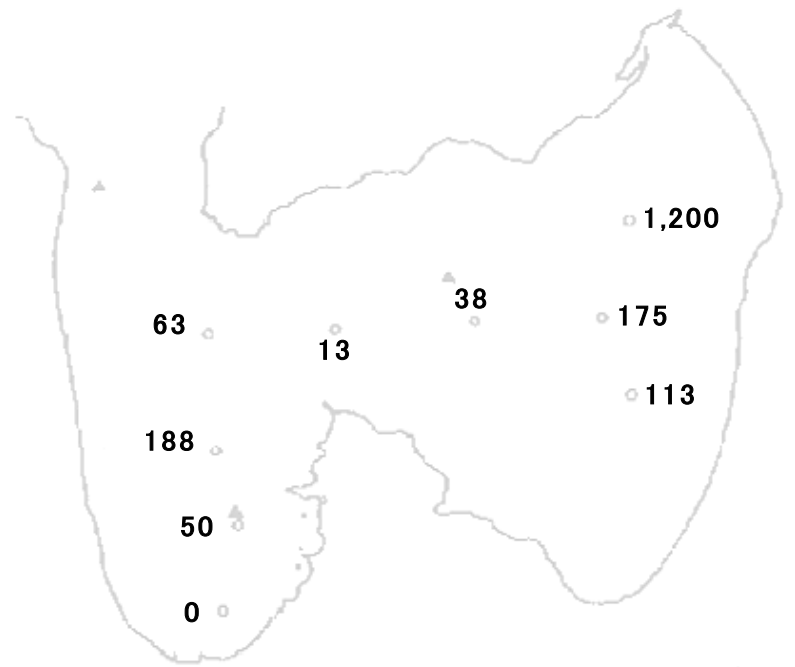


図5 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数（個/m³）

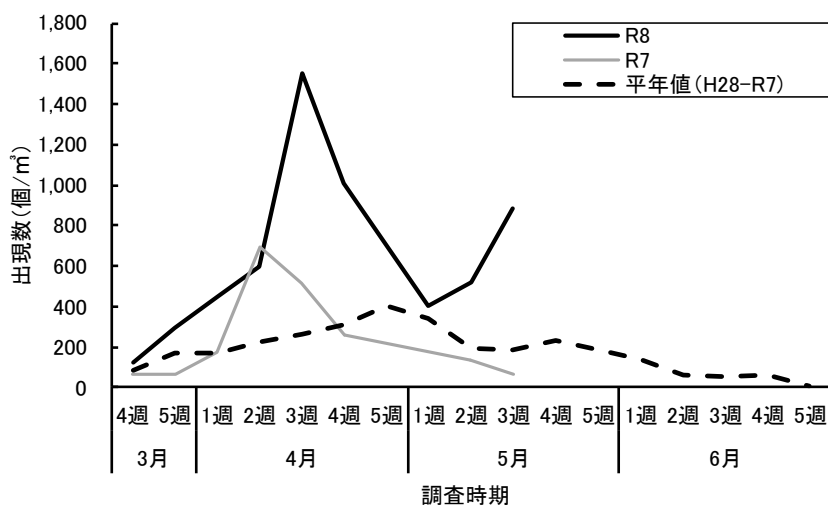


図6 西湾におけるムラサキガイラーバ出現数の推移

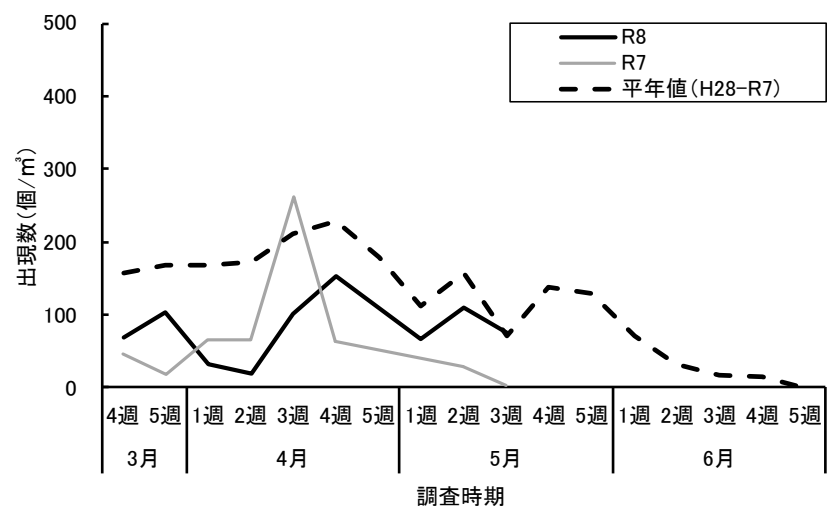


図7 西湾におけるキヌマトイガイラーバ出現数の推移

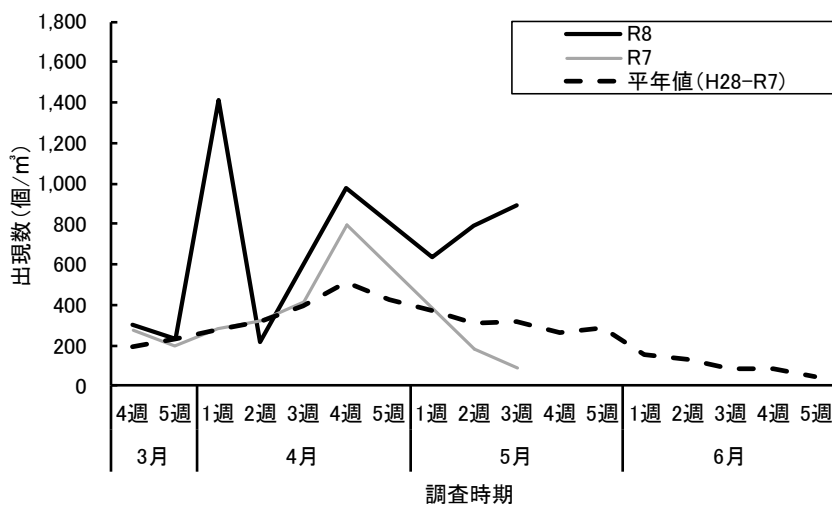


図8 東湾におけるムラサキガイラーバ出現数の推移

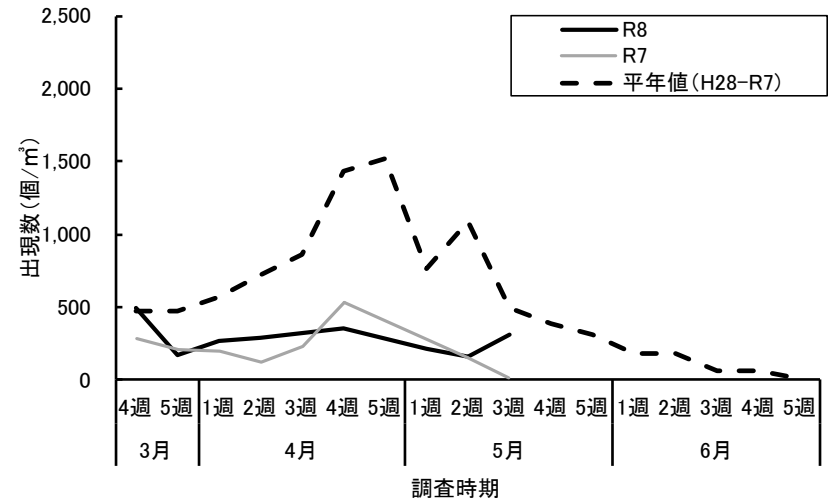


図9 東湾におけるキヌマトイガイラーバ出現数の推移

※図6~9 週の始まりは日曜日で算出